再編統合10年 門出祝う

熊本高専 2キャンパスで卒業・修了式

熊本電波高専と八代高専が再編統合し、節目の10年を迎えた熊本高専（荒木啓二郎校長）の八代、合志両市のキャンパスで23日、卒業式・修了式があり、本科卒業生と専攻科修了生合わせて298人が巣立った。

式は2014年度から、熊本市の県立劇場で合同で実施し、例年千数百人が参加。今年は新型コロナウイルス感染防止のため、両キャンパスでの分散開催とした。

熊本キャンパスではスーツやはかま姿の卒業生と修了生、教職員、保護者ら計約500人が参加した。証書の受け取りを代表2人に絞って時間を短縮。荒木校長が「新たなことに果敢に挑戦してほしい」と激励した。

熊本キャンパス5年の福島拓海さん（20）は「一度きりの思い出が中止にならず良かった」。八代キャンパス5年の塩谷彩乃さん（20）は「授業や部活で慣れ親しんだ体育館で式ができてうれしい」と喜んでいた。

卒業生らには、八代キャンパス1年の山下和花さんがデザインした10周年記念タオルが贈られた。

熊本高専は09年10月開校。計2098人が卒業・修了した。

（木村恭士、元村彩）

▲卒業式を終え、八代キャンパスの中庭で10周年記念タオルを持って記念写真に納まる学生たち＝八代市

◀熊本キャンパスの体育館前で記念撮影する学生たち＝合志市